

学年	小学校第6学年		教科書	東京書籍
教科・単元名	社会科	縄文のむらから古墳のくにへ	ページ数	P8～23

6分野7項目：イメージ同定【REP】

授業の実際

本時の目標

米づくりの広がりによって集落のまわりが変化したり、道具が変化したり、指導者が豪族になっていったりしたことを関連付けることにより、むらからくにへと発展していったことを理解することができる。

26/9/24(金) むらからくにへ P16-17

① 復元された吉野ヶ里遺跡 14~300年 1~3世紀ごろ
もとの村は状態位置にもよる

交易…品物と品物を交換したり
売買したりして商売すること

② 米づくりの広がりによって争いがおこり
強いむらからまわりのむらに従えてくになつて
いった。くにを支配する王、豪族は、中国
や他の地域と交易して豊かになつて
いった。

③ わかたこと考えたいこと、知りたいこと

④ 米づくりが始まったことで、人々のくらしや
世の中は、どのように変わっていったのでしょうか。

⑤ 米づくりの広がりによってむらの様子は
どのようにかわったでしょう。

⑥ 出土品…キャプション

⑦ 文化…技術…とく川

⑧ 王の強い豊か

⑨ 豪族

⑩ むら

⑪ むら

⑫ むら

⑬ むら

⑭ むら

⑮ むら

⑯ むら

⑰ むら

⑱ むら

⑲ むら

⑳ むら

㉑ むら

㉒ むら

㉓ むら

㉔ むら

㉕ むら

㉖ むら

㉗ むら

㉘ むら

㉙ むら

㉚ むら

㉛ むら

㉜ むら

㉝ むら

㉞ むら

㉟ むら

㊱ むら

㊲ むら

㊳ むら

㊴ むら

㊵ むら

㊶ むら

㊷ むら

㊸ むら

㊹ むら

㊺ むら

㊻ むら

㊼ むら

㊽ むら

㊾ むら

㊿ むら

資料の番号の整理

【実践のポイント】

本単元では、縄文時代から古墳時代（大和朝廷の成立）までの変化を、くらしの様子と比較や道具の変遷などに着目して理解していく。本時では、縄文のむらの時代にはいなかった指導者が米づくりをきっかけに現れ、徐々に力を強め王になっていく様子を捉える。

いくつかの資料から必要な情報を読み取る活動に重点を置いたので、教科書の本文と教科書の資料の番号を照らし合わせる活動をいれた。また、ある資料の情報と別の資料の情報を組み合わせられるように、関係する内容について問い返しを行った。

☆キャプションの番号を手掛かりに教科書の内容と照らし合わせていく

T:ここはどこの遺跡かな
C:吉野ヶ里遺跡
T:どうしてわかったの？
C:キャプション1にかいてあるから。

T:「(教科書)大陸の技術や文化を取り入れた」とあるけど、どの資料から分かるのかな
C:キャプション5から11番
T:「(教科書)南方の貝でつくったうで輪」は何番？
C:8番
T:どうしてわかったの？
C:キャプションの説明にかいてあるから
C:奄美大島は海のほうにある
T:この遺跡はどこにあるの？
C:佐賀県
T:どういうことかな
C:奄美大島から佐賀まで来たってこと